



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月2日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <https://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部管掌兼ウェルネス推進本部管掌 (氏名) 山崎 長俊

TEL 059-340-0802

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	39,577	4.4	5,476	19.5	5,987	22.6	3,804	8.2
2025年3月期第3四半期	37,925	3.6	4,583	31.2	4,883	32.7	3,517	44.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 5,016百万円 (36.4%) 2025年3月期第3四半期 3,677百万円 (20.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	225.42	
2025年3月期第3四半期	207.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	69,034	55,546	78.0
2025年3月期	62,019	52,116	81.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 53,831百万円 2025年3月期 50,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		10.00		72.00	82.00
2026年3月期		20.00			
2026年3月期(予想)				84.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2026年2月2日)公表いたしました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	52,000	3.9	7,000	12.7	7,000	6.5	5,000	296.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2026年2月2日)公表いたしました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	23,513,701 株	2025年3月期	23,513,701 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	6,629,301 株	2025年3月期	6,645,108 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	16,879,169 株	2025年3月期3Q	16,950,202 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善やインバウンド需要により、景気持ち直しの動きが見られましたが、米国の関税引き上げ政策や、円安や物価高の影響など依然として先行きが不透明な状況にあります。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、国内外における健康志向の高まりに伴い堅調に推移しましたが、物価高騰による消費者の節約志向が継続しており、企業を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥ガバナンスの強化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結結果計期間の売上高は、395億77百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。営業利益は、54億76百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。経常利益は、59億87百万円（前年同四半期比22.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、38億4百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

当第3四半期連結結果計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、アジア市場は減少しましたが、国内及び欧米市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、国内・アジア及び米国市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

ミネラル製剤は、米国市場は減少しましたが、アジア及び欧州市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、国内市場は減少しましたが、アジア及び米国市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、126億32百万円（前年同四半期比14.8%増）、営業利益は、27億96百万円（前年同四半期比42.0%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

一般食品用途は、国内及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

化粧品、トイレタリー用途は、欧州市場は減少しましたが、国内及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

飲料用途は、国内及びアジア市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、106億42百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は、16億30百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

■ ナチュラルイングリディエント事業

乳製品、飲料、菓子、パン、即席食品、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、めん用途、調味料用途等の粉末卵は減少しましたが、調味料用途等の液卵が増加しました結果、鶏卵加工品全体として売上高は前年を上回りました。

即席食品用素材は、海外向け用途が増加しましたが、国内向け用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

安定剤は、飲料用途、デザート用途、冷菓用途及び総菜用途が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、161億63百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は、10億1百万円（前年同四半期比

1.4%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、1億38百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は、47百万円（前年同四半期比26.9%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は391億円となり、前連結会計年度末に比べ63億4百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が24億86百万円、受取手形及び売掛金が27億84百万円、商品及び製品が4億22百万円、原材料及び貯蔵品が6億7百万円、流動資産その他が1億74百万円増加したことによるものであります。固定資産は299億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億11百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産その他（純額）が7億28百万円、投資有価証券が7億74百万円増加、建物及び構築物（純額）が3億4百万円、機械装置及び運搬具（純額）が4億68百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、690億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億15百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は116億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億3百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が18億55百万円、未払法人税等が11億70百万円、賞与引当金が4億82百万円増加、役員退職慰労引当金が2億86百万円減少したことによるものであります。固定負債は18億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億81百万円増加いたしました。これは主に固定負債その他が2億33百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、134億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億85百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は555億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億30百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益38億4百万円の計上、その他有価証券評価差額金が4億15百万円、為替換算調整勘定が5億97百万円増加、配当金の支払により15億53百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.0%（前連結会計年度末は81.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間における実績を踏まえ、2025年5月7日の「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年2月2日）公表いたしました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,563,950	13,050,428
受取手形及び売掛金	10,655,089	13,439,930
電子記録債権	593,778	495,573
商品及び製品	5,945,211	6,367,979
仕掛品	839,671	768,335
原材料及び貯蔵品	3,457,705	4,065,645
その他	778,032	952,547
貸倒引当金	△37,092	△39,698
流動資産合計	32,796,347	39,100,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,111,203	8,806,408
機械装置及び運搬具（純額）	5,433,340	4,964,443
土地	8,167,230	8,167,033
その他（純額）	809,726	1,538,717
有形固定資産合計	23,521,500	23,476,602
無形固定資産	125,887	133,890
投資その他の資産		
投資有価証券	5,219,428	5,993,853
その他	369,000	342,579
貸倒引当金	△12,950	△12,950
投資その他の資産合計	5,575,479	6,323,483
固定資産合計	29,222,867	29,933,975
資産合計	62,019,214	69,034,718

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,362,939	7,218,635
未払法人税等	175,211	1,345,377
賞与引当金	285,251	767,915
役員退職慰労引当金	286,180	—
その他	2,250,039	2,331,262
流動負債合計	8,359,622	11,663,190
固定負債		
長期借入金	358,106	381,560
退職給付に係る負債	37,099	23,392
役員退職慰労引当金	265,136	303,665
その他	882,806	1,116,446
固定負債合計	1,543,148	1,825,065
負債合計	9,902,771	13,488,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,369,942	7,380,760
利益剰余金	39,703,877	41,948,377
自己株式	△7,165,690	△7,148,639
株主資本合計	47,638,751	49,911,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,819,985	2,235,222
繰延ヘッジ損益	△18,130	35,122
為替換算調整勘定	1,030,450	1,628,044
退職給付に係る調整累計額	1,575	22,474
その他の包括利益累計額合計	2,833,880	3,920,863
非支配株主持分	1,643,811	1,714,478
純資産合計	52,116,443	55,546,461
負債純資産合計	62,019,214	69,034,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	37,925,434	39,577,354
売上原価	27,123,265	27,554,971
売上総利益	10,802,169	12,022,382
販売費及び一般管理費	6,218,858	6,546,172
営業利益	4,583,310	5,476,210
営業外収益		
受取利息	64,064	45,491
受取配当金	93,964	107,797
持分法による投資利益	55,482	89,672
為替差益	55,006	195,674
受取賃貸料	54,303	51,420
その他	48,670	102,410
営業外収益合計	371,492	592,466
営業外費用		
支払利息	12,069	16,293
貸与資産減価償却費	36,261	35,940
その他	23,057	29,262
営業外費用合計	71,388	81,495
経常利益	4,883,414	5,987,181
特別利益		
固定資産売却益	1,744	—
投資有価証券売却益	218,907	—
特別利益合計	220,651	—
特別損失		
固定資産除売却損	14,553	7,047
役員退職慰労金	—	240,519
特別損失合計	14,553	247,567
税金等調整前四半期純利益	5,089,513	5,739,614
法人税等	1,439,101	1,727,300
四半期純利益	3,650,411	4,012,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	132,734	207,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,517,676	3,804,927

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,650,411	4,012,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△249,044	408,012
為替換算調整勘定	265,898	514,567
退職給付に係る調整額	3,784	20,899
持分法適用会社に対する持分相当額	6,259	60,477
その他の包括利益合計	26,898	1,003,957
四半期包括利益	3,677,310	5,016,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,494,546	4,891,909
非支配株主に係る四半期包括利益	182,764	124,360

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	1,592,638千円	1,486,083千円

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリュー ション 事業	ナチュラル イングリ ディエント 事業	計		
売上高						
日本	4,818,682	9,185,880	13,713,679	27,718,242	116,211	27,834,453
アジア	717,989	1,133,175	2,359,197	4,210,362	13,664	4,224,026
アメリカ	4,085,026	42,872	—	4,127,898	—	4,127,898
欧州	1,378,980	360,074	—	1,739,055	—	1,739,055
顧客との契約から生 じる収益	11,000,678	10,722,003	16,072,876	37,795,558	129,875	37,925,434
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,000,678	10,722,003	16,072,876	37,795,558	129,875	37,925,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,000,678	10,722,003	16,072,876	37,795,558	129,875	37,925,434
セグメント利益	1,969,119	1,588,795	987,993	4,545,908	37,402	4,583,310

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリュー ション 事業	ナチュラル イングリ ディエント 事業	計		
売上高						
日本	4,619,194	9,190,510	13,704,680	27,514,386	125,488	27,639,874
アジア	986,336	1,167,012	2,458,374	4,611,723	13,445	4,625,168
アメリカ	5,417,518	99,401	—	5,516,920	—	5,516,920
欧州	1,609,624	185,765	—	1,795,390	—	1,795,390
顧客との契約から生 じる収益	12,632,674	10,642,690	16,163,055	39,438,421	138,933	39,577,354
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,632,674	10,642,690	16,163,055	39,438,421	138,933	39,577,354
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,632,674	10,642,690	16,163,055	39,438,421	138,933	39,577,354
セグメント利益	2,796,971	1,630,286	1,001,485	5,428,743	47,466	5,476,210

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。